

2019年度 カレッジリンク ガイダンス

- 【概要】 地域住民と学生がともに学ぶ集中講義。フィールドワークやワークショップを基本とする。
- 「@千葉」は2 コース（西千葉、松戸）、「@柏」は2 コース（柏の葉）、「@ローカルA（横芝光町）」、「@ローカルB（長柄町）」の4 科目 6 コースを開講する。4 科目履修も可（注3）。但しコースは1 つに絞ること。2 単位。（@千葉、@ローカルA、B の成績評価は「合」「否」）
- 【履修登録方法】 各科目、コースごとに履修登録方法が異なります。それぞれの「履修登録方法」に従って履修登録すること。
- 【注意】 1. ポータルでの履修登録はしないこと。
2. 履修人数に上限があるため、希望者多数の場合は履修届・アンケート等（履修の動機等の記入）を提出してもらい選抜する。
3. @ローカルA、B は、昨年度までの「@ローカル」および「@千葉B」を受講していた場合、横芝光町あるいは長柄町のコースが異なれば今年度の受講も可能とする。ただし、受講希望者多数の場合は、原則として未受講者を優先する。

科目名	カレッジリンク@千葉 西千葉コース
ターム	T1-2
担当教員	鈴木雅之（国際教養学部 准教授）
テーマ	“ちば”でしかできないライフ・しごと・働き方スタイルをつくる
概要	「千葉市」と「千葉地方圏」の地域資源を結びつけ、“ちば”でしかできない、“ちば”ならではの「新たなライフスタイル、しごと・働き方スタイル」を受講者のワークショップによりプロジェクトのコンセプト、企画、実現方法を提案する。各回、話題提供者からのミニレクチャーがある。 第1回 ガイダンス ちばの強み・弱みWS 話題提供：千葉市政策企画課 “ちば” 共創都市圏とは、 第2・3回 ”ちば”の新しい価値観・ライフスタイルをつくるWS 話題提供：博報堂ブランドデザイン研究所、いすみライフスタイル研究所 第4・5回 ”ちば”の新しいしごと・働き方スタイルをつくるWS 話題提供：千葉銀総合研究所、JTB 総合研究所 （話題提供はいずれも予定。今後調整していきます）
授業日程	2019 年 6 月 22 日（土）、6 月 29 日（土）、7 月 6 日（土）、7 月 13 日（土） 7 月 20 日（土） いずれも 13：00～17：00
場所	サテライトキャンパス美浜（サテキャン）ほか関連施設 千葉市美浜区高浜
定員	15 名
履修登録方法	1）Moodle で「カレッジリンク@千葉（通年）」のコースに登録。 2）登録キーは、「chiba2019」。 3）一番上のトピック「カレッジリンク@千葉（通年） 履修登録」の履修届アンケートに回答する。
履修締切	6 月 7 日まで（延長しました） 応募定員数を超えた場合は、履修登録の内容から選抜し 6 月 11 日までに受講者の決定を Moodle またはメールで通知します。決定後の受講取り消しはできませんので注意してください。
問い合わせ	suzukima@faculty.chiba-u.jp 鈴木

科目名	カレッジリンク@千葉 松戸コース
ターム	T4-5
担当教員	木下勇 （園芸学部 教授）
テーマ	「食と緑」のパートナー養成 SDGs と食べられる景観
概要	松戸では松戸駅からキャンパスまで、今「食べられる景観の散策路」(Edible Way) を進めている。園芸学部の特徴の「食と緑」をもっとまち全体に広げるための楽しく、多くの人が関わる仕掛けを市民と学生で考えようとしている。今年はこのテーマで3 年目。SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する食べられる景観を今年考える。 ①10 月 26 日（土）：子どもの柿泥棒は持続可能な社会？ 木下勇教授＆江口亜維子とみどりの回廊学生 WG ②③11 月 16 日（土）：②昆虫たちとの共存：環境に優しい害虫管理 野村昌史准教授 ③松戸中央公園を楽しくするには 秋田典子准教授 ④⑤11 月 30 日（土）：里山保全型の都市公園における「食と農」への取り組みの提案 柳井重人准教授、三島孔明准教授
授業日程	予定 上記日程（開講時間等の詳細は別紙）
場所	松戸キャンパス学生ホール、および 21 世紀の森と広場
定員	15 名
履修登録方法	履修希望を「学部、学年、学籍番号、氏名、カレッジリンクの名称（@以下、コース名）、連絡先（千葉大学のメールアドレス）」をつけて、下記までメールで送ること。 isamikinoshita@faculty.chiba-u.jp 木下宛
履修締切	一次 5 月 31 日、 二次追加募集 10 月 15 日

科目名	カレッジリンク@柏
ターム	T4-5
担当教員	野田勝二 （環境健康フィールド科学センター）
テーマ	A コース、B コースの 2 コースを予定
概要	柏の葉地域の特徴を生かし、地域に貢献する、あるいは新しいライフスタイルを提案できるプログラムが組まれる。 プログラムの詳細が決まり次第発表します（6 月中下旬を予定）。 授業情報は、 ・千葉大学 COC+ホームページ ・千葉大学 COC+フェイスブック ・千葉大学全学共通教育（ケア学、イノベ学）登録者一斉メール で 6 月上旬に掲載、発信する。 最後の回は、A、B 両コース合同で学んだことの発表会を行います。
授業日程	9 月下旬から 12 月上旬までの土日に 6 回開講
場所	環境健康フィールド科学センター（柏の葉キャンパス）
定員	各コース 20 名程度（市民を含む）
履修登録方法	履修希望を「学部、学年、学籍番号、氏名、カレッジリンクの名称、連絡先（千葉大学のメールアドレス）」をつけて、下記までメールで送ること。 k_noda@faculty.chiba-u.jp 野田宛
履修締切	9 月中旬を予定

科目名	カレッジリンク@ローカルA（横芝光町）
ターム	T4-5
担当教員	鈴木雅之（国際教養学部 准教授）
テーマ	未定
概要（予定）	10月1日に授業内容を発表 授業情報は、 ・千葉大学COC+ホームページ ・千葉大学COC+フェイスブック ・千葉大学全学共通教育（ケア学、イノベ学）登録者一斉メール で10月1日に掲載、発信する。
授業日程	未定 宿泊は、横芝光町なんじゃもんじゃコテージ
場所	横芝光町ローカルハブ、横芝駅前情報交流館ヨリドコロ 千葉県横芝光町
定員	15名
履修登録方法	未定（10月1日に伝えます）
履修締切	10月10日まで。応募者多数の場合は選抜（10月15日までに受講可否を通知）
問い合わせ先	suzukima@faculty.chiba-u.jp 鈴木宛

科目名	カレッジリンク@ローカルB（長柄町）
ターム	T4
担当教員	田島翔太（コミュニティ・イノベーションオフィス特任助教）、いすみライフタイル研究所
テーマ	地域をブランディングする
概要	人口減少時代に地方が生き残るには、地域のブランド力を高め、適切にプロモーション（情報発信）する必要があります。人口7500人の長柄町を題材に、地方が抱える課題や取組を学び、地域ブランドの手法を企画・提案します。 講義テーマ：長柄町生涯活躍のまちと地域ブランドの考え方、地域の特性を知る、地域のコンセプトと価値づくり、地域のプロモーション
授業日程	2019年10月5日（土）～6日（日）1泊2日 宿泊はリソル生命の森コテージ
場所	長柄町役場、リソル生命の森（千葉県長生郡長柄町上野521-4）
定員	15名
履修登録方法	1）Moodleで「カレッジリンク@ローカルB（通年）」のコースに登録。 2）登録キーは、「2019」。 3）一番上のトピック「@ローカルB（長柄町コース） 履修登録」のアンケートに回答する。
履修締切	一次募集 5月10日（金） 二次募集 6月14日（金）まで（延長しました） 二次募集で応募定員数を超えた場合は、アンケートの内容から選抜し6月28日までに受講者の決定をMoodleまたはメールで通知します。決定後の受講取り消しはできませんので注意してください。
問い合わせ先	shotaj.tajima@chiba-u.jp コミュニティ・イノベーションオフィス特任助教 田島宛

昨年度の様子
（@千葉）



（@ローカル 横芝光町）



（@ローカル 長柄町）

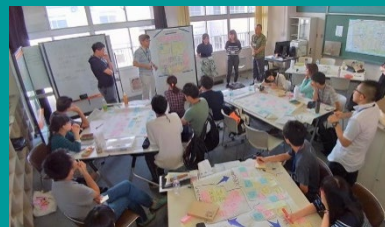


受講生
募集!

普遍教育科目 集中講義 一カレッジリンク@千葉2019—

“ちば”でしかできない 暮らし・しごと・働き方スタイルをつくる

@サテライトキャンパス美浜 ※第4回のみSHI TSU RAI



地域の方と学生と一緒にワークショップ形式で学ぶ、集中講義です。

このコースでは、「千葉市」と「千葉地方圏」の地域資源を結びつけ、「ちば」でしかできない、「ちば」ならではの「新たなライフスタイル、しごと・働き方スタイル」について、ワークショップを通じてコンセプトを考え、企画し、それを実現させるための方法の提案まで実施します。

日程

全5回・各回 13:00～17:00

コーディネーター：鈴木 雅之

千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス / 国際教養学部准教授

第1回 6月22日(土)	<ガイダンス> ・講義『“ちば”共創都市圏構想とは』講師：堺 逸樹（千葉市 政策企画課長） ・講義『千葉市と周辺市の概況』講師：鈴木 雅之（千葉大学 国際教養学部准教授） ・ワークショップ『“ちば(都市圏・地方圏)”の強み・弱み』
第2回 6月29日(土)	<テーマ1 “ちば”の新しい価値観・暮らしスタイルをつくる【その1】> ・講義『(仮)ひとと動くをデザインすると、まちは変えられる。』講師：深谷 信介 （博報堂スマート×都市デザイン研究所長） ・講義『千葉のシェアスタイルアンケート結果』講師：鈴木 雅之（前掲） ・ワークショップ『“ちば”の価値観・ライフスタイルの提案』
第3回 7月6日(土)	<テーマ1 “ちば”の新しい価値観・暮らしスタイルをつくる【その2】> ・ミニ講義『企画づくりの方法1』講師：鈴木 雅之（前掲） ・ワークショップ『提案内容を実現する方法提案』
第4回 7月13日(土)	<テーマ2 “ちば”の新しい働き方(しごと)スタイルをつくる【その1】> ・講義『(仮)新しい働き方(しごと)のスタイル』講師：坂本 純子(株式会社パクチー代表) ・講義『データを見える化する“千葉市と周辺の産業としごと”を題材に』講師：鈴木 雅之（前掲） ・ワークショップ『“ちば”のしごと・働き方の提案』
第5回 7月20日(土)	<テーマ2 “ちば”の新しい働き方(しごと)スタイルをつくる【その2】> ・ミニ講義『企画づくりの方法2』講師：鈴木 雅之（前掲） ・ワークショップ『提案内容を実現する方法提案』
事後学習	各グループの提案を企画書（パワーポイント）で提出

会場

千葉大学サテライトキャンパス美浜（第4回以外）、SHI TSU RAI（第4回）

千葉市美浜区高浜3-3-1「はまのわ」3階

千葉市美浜区高洲3-14-1和紅ビル3階

対象

全学部1～4年生。定員15名《先着順》

単位・成績

2単位・成績は「合・否」判定

登録方法

- ①Moodleで「カレッジリンク@千葉（通年）」のコースに登録。
- ②登録キーは、「chiba2019」。
- ③一番上のトピック「カレッジリンク@千葉（通年）履修登録」の履修届アンケートに回答する。
 【締切6/7(金)まで】 ※応募定員数を超えた場合は、履修登録の内容から選抜し6月11日までに受講者の決定をMoodleまたはメールで通知します。



「食と緑」のパートナー養成 松戸カレッジリンク講座 2019

カレッジリンク・プログラムとは、地域の方と大学生と一緒にワークショップ形式で学ぶ、千葉大学独自の新しい学習プログラム。誰でも参加可能で、修了者には千葉大学長名の履修証明書も発行されます。

■主旨・目的

松戸では松戸駅からキャンパスまで、今「食べられる景観の散策路」(Edible Way)を進めています。園芸学部の特徴の「食と緑」をもっとまち全体に広げるための楽しく、多くの人が関わる仕掛けを市民と学生で考えようとしています。今年はこのテーマで3年目。SDGs(持続可能な開発目標)に貢献する食べられる景観を今年は考えたいと思います。

■コーディネーター 木下 勇(園芸学部 教授)

■内容(予定)

①10月26日(土)9:00-13:10 園芸学部 E棟1階 学生ホール
木下勇教授&江口亜維子とみどりの回廊学生WG

テーマ: 子どもの柿泥棒は持続可能な社会?

あなたは子どもの時、柿泥棒をしたことがありますか?
柿泥棒から学ぶ地域社会

②11月16日(土)9:00-13:10 園芸学部 緑風会館 第1談話室
野村昌史准教授

テーマ: 昆虫たちとの共存: 環境に優しい害虫管理

農業現場における新たな害虫管理を紹介し、一緒に学内の昆虫を探索します。

③11月16日(土)13:30-16:30 園芸学部 緑風会館 第1談話室
秋田典子准教授

テーマ: 松戸中央公園を楽しくするには

松戸の新しい拠点の核となる松戸中央公園をより楽しい空間にするための方法について、国内外の最新のパークマネジメントの事例を踏まえながら、参加者全員で検討します。

④⑤11月30日(土)9:00-16:30

場所: 21世紀の森と広場および同パークセンター

柳井重人准教授と三島孔明准教授

テーマ: 里山保全型の都市公園における「食と農」への取り組みの提案

かつての里山的な環境を活かした松戸市の代表的な都市公園である「21世の森と広場」(特に「みどりの里」と「生命の森」)を対象に、「食と農」への取り組みの推進とマネジメントにかかわる提案を行います。現地踏査、公園管理担当者の解説、事例紹介を踏まえて、参加者全員で検討を進めます。

協力: 榎本孝芳 (NPO クリエイティブまつど工房)

受講申し込み・問合せ先・受講料について

申し込みの締め切りは第一次5月31日、第二次追加募集は10月15日です

(基本、原則、全回参加ですが、もし都合悪い日が1、2回ありましたらご相談ください)

千葉大学学生

千葉大学大学院園芸学研究科 木下勇

isamikinoshita@faculty.chiba-u.jp へご連絡ください。

授業として開講しますので、受講料は無料です。

一般市民の皆様 千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム事務局

E-MAIL: ccrc@chiba-u.jp へご連絡ください。

受講料は1万円のところ、昨年度に続き特別割引価格 5,000 円 協力: 松戸市 (政策推進課)



受講生
募集!

地域資源の発掘と まちのブランディング

長柄町の地域資源の活用法を学生と一緒に探求する2日間



日時

2019年

10月5日(土)・6日(日)

対象

社会人・大学生以上。定員 15 名《先着順》
まちづくりに関する特別な知識は必要ありません。

場所

長柄町役場

リソル生命の森フォレストアカデミー
(千葉県長生郡長柄町)

受講料

税込 10,000 円(資料代込)

長柄町民の方は、7,000 円の補助がです。
詳しくはお問い合わせください。

スケジュール

1 日目 10月5日(土) 場所：長柄町役場

9:00-12:30 地域資源の発掘

地域資源を発掘し、まちのブランディングとして
生かすための方法について学びます。

13:30-17:00 長柄町の地域資源発掘ツアー

町内のスポットを回り、課題に沿って地域資源の
掘り起こしを行います。
その後、メンバーで気づきを共有します。

2 日目 10月6日(日) 場所：リソル生命の森フォレストアカデミー

9:00-12:30 まちのコンセプトづくり

前日に行った地域資源を共有し、テーマごとに
まちのコンセプトづくりに取り組みます。

13:30-17:00 長柄町のブランドづくり

皆さんで発掘した地域資源を体系化し、
長柄町のブランディングを行います。

より詳しい内容は、ウェブをご覧ください。
<http://cocp.chiba-u.jp/news/181013collegelink.html>

講師紹介

NPO 法人いすみライフスタイル研究所理事 /
有限会社イープロ社長 江崎 亮



こんにちは、いすみライフスタイル研究所の江崎です。
ビジネスで得た知見をまちづくりに活かすことを
テーマに、いすみ市でまちづくりのお手伝いをし
ています。NPO の活動で体験・発見したことも織り
交ぜながら、まちづくりの進め方を「地域のブラン
ディング」という観点からご紹介します。

千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス
特任助教 田島 翔太



人口減少時代に地方が生き残るには、地域をブラン
ド化し、プロモーションする必要があります。授業
で学んだことを皆様の地域に持ち帰り、地域の活性
化に活かしてください。参加にあたって知識・経験
は不要です。たくさんのご参加お待ちしております。

申込方法

氏名、年齢、住所、職業、電話番号、メールアドレスを明記の上、
メールまたは FAX でお申込みください。

(メール) coc-p@chiba-u.jp (FAX) 043-290-2148

【申込締切】2019年9月13日(金)

※カレッジリンクとは：地域の方と大学生と一緒にワークショップ形式で学ぶ学習プログラムです。

15 回分の授業を 2 日間で実施し、修了者には千葉大学長名の修了証書が授与されます。

【問い合わせ】千葉大学コミュニティ・イノベーションオフィス 電話：043-290-2912 メール：coc-p@chiba-u.jp